

「V + 着」と〈V + テイル〉の対照研究 (八)

時 衛国

外国語教育講座

A Contrastive Study of “Verb + Zhe” and “Verb + Teiru” (viii)

Weiguo SHI

Department of Foreign Languages, Aichi University of Education, Kariya 448-8542, Japan

要約

本研究は中国語の「着」と日本語の〈テイル〉の意味機能について対照言語学的に考察し、両者の共通点と相違点を究明することとする。「着」と〈テイル〉は、命令表現・動作過程の描写・連体修飾節に用いることができるという点では共通しているが、命令表現の場合、語の意味による制限をあまり受けておらず、動作過程への多様な描写の手段を持っているという点では、「着」は〈テイル〉と異なっている。

「着」は、命令表現に用いることができ、様々な動的状態を捉えることができる。また静的状態に対しても支配的に捉えることができる。この用法は「着」のその他の表現における用法とは大きく異なり、命令表現における「着」の独特な用法と考えられる。動作過程への把握の仕方も多くあり、また、連体修飾節においても強い描写性を有しており、多様な状態を表現することができる。この点では〈テイル〉と違っている。〈テイル〉は、命令表現に用いられる場合、ぞんざいな命令表現として話し言葉に多用されるが、丁寧な命令表現とはならない。また、動詞の意味によっては共起しにくい場合もあり、使用上、一定の制限を受けている。連体修飾節においても強い描写性を保っており、静的状態の持続を表現することができる。ただし動作過程を捉える場合は、所定の形式によって表現することになり、「着」のように繰り返す形で用いることは許容されない。

キーワード：命令表現・事前処置・動作過程の描写・連体修飾節における描写の仕方

1. はじめに

本研究は、中国語の「V + 着」と日本語の〈V + テイル〉¹⁾の意味機能などについて、命令表現・動作過程の描写・連体修飾節に用いられた場合の諸用法を中心に考察しようとするものである。

本研究では、以下の三つの課題を中心に取り上げることとする。

一、命令表現の場合、「着」と〈テイル〉はそれぞれどのように用いられ、どのような役割を果たしているのか。

二、動作過程を捉える場合、この二語は、幾つかの動作の進行過程の表現が許容されるのか。どのような制限を受けているのか。

三、連体修飾節に用いられた場合、「着」と〈テイル〉は、どのような意味機能を持っているのか、どのような共通点と相違点を持っているのか、そして、文法的

にはそれぞれがどのような特徴を持っているのか。
たとえば、

- (1) 记着!(覚えている)²⁾
- (2) 覚えている。
- (3) 放着!(置いておけ)
- (4) ??a 置いている。
b 置いておけ。
- (5) a 他在听讲演的过程中睡着了。(彼はスピーチを聴いているうちに眠ってしまった)
b 他在听着讲演的过程中睡着了。(彼はスピーチを聞いているうちに眠ってしまった)
c 他听着听着讲演睡着了。(彼はスピーチを聞いているうちに眠ってしまった)
- (6) ?a 彼はスピーチを聞くうちに眠ってしまった。
b 彼はスピーチを聞いているうちに眠ってしまった。

?彼はスピーチを聞いている、聞いているうちに眠ってしまった。

「着」は(1) (3)において、「記(覚える)」「放(置く)」という動詞を捉え、命令表現としてある状態の保持を要求することを表わしている。(5)のbでは、動作のプロセスを捉え、(5)のcでは、「V+着+V+着～」の形で動作のプロセスを捉えている。

〈テイル〉は(2)において、命令表現として〈テイロ〉の形で「覚える」を捉え、ある状態の保持を要求することを表わしている。ところが、(4)のbにおいては、〈テイロ〉は共起しにくく、〈テオク〉の命令形である〈テオケ〉は「置く」という動作を捉えている。また、(6)のbは自然な表現であるが、aとcは自然な表現とは言えない。

両言語はどのような共通点と相違点を持っているのか。以下、対照研究の立場から考察することとする。

2. 先行研究

命令表現に用いられる「着」の用法については、袁毓林(1992)では、「V+着」を命令・依頼の表現の一つと見なし、「V+着」のVの位置に立つ動詞を六つのグループに分類している。その表現は人や物がある状態を保ったり、あるいはある状態に入ったりすることを要求することを表わすと述べている。「V+着」を、状態を表わす命令・依頼の表現形式と位置づけられている(P 47)。

劉一之(2001)では、祈使句(命令文)に用いられる「着」の前に動詞も形容詞も来ることができる。しかし、「着」は命令表現のスタイルとは言えない。命令の意味は、コンテキストによって決まるのであり、表現形式によって決まるものではないとしている(pp 128~129)。この見解は正しいと言えようが、ただし、「着」はそれだけでは命令表現は構成できないものの、動詞と共起して命令表現には用いることができる。即ち、「着」は動態描写、静態描写の機能を有するため、「V+着」の形でその動態や静態の保持を求める表現には使用できると考えている³⁾。

日本語の〈テイル〉の命令形である〈テイロ〉については、特に考察した論考は未見である。連体修飾節における〈テイル〉については、仁田(1982)、工藤(1982)等では言及されているが、特に考察したものではない。また、本研究で取り上げた〈テイル〉のその他の用法に関する先行研究もあまり見られない。

一方、寺村(1982・2003)では、連体修飾節に用いられる場合、「テイルN」はその(主節が表わしている)時のNの状態を表わすのに対し、「～タN」は(他のものと比較しての)Nの外面的な特徴をいう感じが強いと述べている(P 198)。

3. 分析

3.1. 命令表現の場合

3.1.1. 中国語

「着」は「V+着」の形で命令表現に用いることができる。たとえば、

- (7) 男人都好好听着、千万别成这种人……(男はよく聞いている。このような人間にならないでよ)
(aiweibang.com)
- (8) 你等着、我马上就来了!(待っている、僕はすぐ来るから)(baobao.baidu.com)

劉一之(2001)では、「着」は命令表現を作れないとされる。たしかに「着」だけでは命令表現を構成することができないが、「V+着」の形になると、それ全体で命令のモダリティを表現することができる。つまり、「着」は動的状態と静的状態の持続は表現することができるものの、それだけでは、命令や依頼などの表現は作ることができない。

ところが、「V+着」の場合は、袁毓林(1992)が述べたように、命令表現として用いることができるようになる。その手がかりとして、「听(聞け!)」「等(待て)」のように、「V」だけでも命令表現を構成することができる。そして「听着(聞いている)」「等着(待っている)」のように、「V+着」の形になると、「聞いている」「待っている」という状態の保持を求める命令表現として用いることができる。

「着」は、「V+着」の形で用いられる場合は、動詞との共起によって、その動詞による命令表現を構成することができると考えられる。中国語では、決まった形での命令表現は持たないため、発話者の強いニュアンスによって命令を表わすことになる。つまり、所定の形式による命令を表わすわけではなく、発話者の音声による命令を表わすのである。この点は、後述の形態が発達した日本語とは大きく異なっている。

「着」は命令表現において、「听(聞く)」「说(話す)」「看(見る)」「吃(食べる)」「记(覚える)」「等(待つ)」「站(立つ)」「坐(座る)」「躺(寝る)」「准备(準備する)」「期待(期待する)」「应付(応対する)」などの動詞と共起できる。また特徴として、これらの動作・行為を表わす動詞と共起する場合は、動的状態の保持を求めることを表現することになるが、一方、「站」「坐」「躺」「蹲」「靠」「依」などの静的状態を表わす動詞と共起する場合は、静的状態の描写を表現するわけではなく、その静的状態を動的状態として捉え、動的状態としての発話者の指図する状態の保持を求めることを表わすことになる。これはこれらの静的状態を表わす動詞は、「着」との共起によって、命令表現として動的状態の保持を求められることになるからである。つまり、「站(立

つ)「坐(座る)」「躺(寝る)」などの動詞は、「着」と共起して陳述文に使われる場合は、「他在沙发上坐着(彼はソファに座っている)」のように静的状態を描写することになる。しかし、命令表現の場合は、「站着(立っている)」「坐着(座っている)」「躺着(寝ている)」などのように、動的状態の保持を求めることになり、その静的状態の描写を表現すると共に、動的状態と見なされたその状態の保持を働きかけるのである。この点については、従来の研究では述べられていない⁴⁾。これは命令表現における「V+着」によるものであり、発話者によって働きかけられた静的状態から動的状態への変換の要求と言える。この点の指摘は、「V着」の拡張された文法的意味を理解するのに役立つものと思われ、「V着」の研究に有益な手がかりを提供するものと認められる。

一方、動詞によっては、「着」と共起できない動詞もある⁵⁾。たとえば、「学习(勉強する)」「研究(研究する)」「考察(考察する)」「分析(分析する)」「休息(休む)」「考虑(考える)」「注意(注意する)」などの二文字の動詞は、書き言葉として多用され、硬い文脈になじむため、「着」とは共起できるものの、くだけた雰囲気の場合には用いられにくいものと考えられる⁶⁾。このように、「着」と共起して命令表現に用いることのできない動詞もあり、「着」は命令表現の場合にも、共起制限を持っていると言える。

「着」は動詞と共起して命令表現に用いられる場合は、動的状態を表わす動詞と静的状態を表わす動詞と共起し、そのいずれも動的状態の保持を働きかける時に用いられるため、文法機能上大きな特徴がある。そして、命令表現に用いられる場合は、陳述表現の場合には持たれていない一面を有するのだと考えられる。

3.1.2. 日本語

日本語では、〈テイル〉は〈テイロ〉という命令形で命令表現を構成することができるという点では、中国語と異なっている。たとえば、

- (9) 「自民党の改憲草案は『お前たち国民は、僕たち政府の言うことを聞いている』という内容」(2016.4.15 出典：iwj.co.jp)
- (10) 「待っている、今タオルを持って来るから」(出典：shuiyinwenduji.com)

動的状態を表わす動詞「聞く」「話す」「やる」「食べる」「見る」など、静的状態を表わす「立つ」「座る」「寝る」「休む」「依る」「しゃがむ」なども、〈テイロ〉と共起することができる。また、命令表現として、話し手から聞き手に対し、動的状態の保持を求めたり、静的状態から動的状態への変換の働きかけを表わしたりすることができるという点では、「着」と共通している。〈テイロ〉

は〈テイル〉の命令形として動詞と共起すると、命令表現を構成することができるという点では、発話者のニュアンスによる命令表現を構成する「着」と少し違っている。言い換えると、〈テイル〉は〈テイロ〉という命令形を用いると、命令表現を構成することができるということである。この点では「着」と異なっている。

日本語は語尾変化のある粘着語として、多様な命令表現の形式が用意されている。たとえば、「動詞の命令形(シロ)」「動詞+テイロ」「動詞+ナサイ」「動詞+テクダサイ」などのほか、また「動詞+クダサイ」「動詞+イタダク」「ゴ/オ+動詞+クダサイ」「ゴ/オ+動詞+イタダク」などの請求・依頼などの表現形式も備えられている。この中で、「動詞+テイロ」は、動的状態の保持を働きかけることを表わす言語形式として用いられ、最もぞんざいな命令表現と考えられる。この点は日本語における発話者と聞き手との階級・身分・性別などの違いを反映しており、最下等の対象から最上等な対象への豊富な命令表現の形式の多様化が示唆されている。

ところが、動詞はその語により、〈テイル〉の命令形である〈テイロ〉と共起することができないものもある。たとえば、

- (11) a??置いている。
b置いておけ。
- (12) a??残している。
b残しておけ。

「捨てる」「投げる」「残す」「仕舞う」「片付ける」などの動詞は、状態の保持より状態の処置を要求する意味が含まれており、〈テイロ〉とは共起しにくいと考えられる。「捨てる」「投棄する」「放る」「放棄する」「投げる」などの動詞は、いわゆる瞬間動詞であり、〈テイル〉を受けると、ある動作・行為が瞬間的に行なわれるが、その結果や影響が残っていることを表わす。たとえば、「捨てている」「投げている」などは、捨てたり投げたりした動作が一瞬に終わっているが、その結果や影響が残っていることを示唆している。しかし、〈テイロ〉という命令形をとる場合は、その動的状態の保持を求めることになるが、捨てたり投げたりする動作は一瞬にして終わることになり、動的状態の保持を求める〈テイロ〉の意味と矛盾してしまうことになる。

また、「置く」「放置する」「位置する」などと「残す」「保留する」「仕舞う」「片付ける」などの動詞は、存置・残存・収納などの意味を表わすため、〈テイロ〉と共起すると、不自然な感じを受ける。というのは、この種類の動詞は、その意味に処置の必要な内容を含んでいるため、〈テオケ〉と共起しやすく、動的状態の保持を表わす〈テイロ〉とは共起しにくいからである。この種の動詞は、〈テイル〉と共起すると、ある動作や行為が

描写されるわけであるが、〈テイロ〉と共起すると、動的状态の保持を求めることになるため、表現としては落ち着きが悪くなる。ところが、処置を表わす〈テオケ〉と共起する場合は、処置の意味が強調され、事前に処置されることを示唆することになる。この点は上記の「聞く」「話す」などの動詞とは異なっている。

一方、「置く」「残す」「仕舞う」「片付ける」などに対応すると見られる中国語の「放(置く)」「留(残す)」「收藏(仕舞う)」「收拾(片付ける)」などは、「放着!(置いておけ)」「留着!(残しておけ)」「收藏着!(仕舞っておけ)」「收拾着!(片付けておけ)」のように、動的状态の保持も処置の意味も表わすことができる。そのため、中国語の「着」は、日本語の〈テイロ〉と〈テオケ〉のいずれの意味機能も付与されており、動的状态の描写はもとより、その状態の保持もその状態の処置も表現することができると言える。この点では、〈テイロ〉と大きく違っている。〈テイロ〉は動詞の意味に制限されることがあり、存置・残存・収納などの意味を表わす動詞と共起しにくいと考えられる。この点は日本語の状態保持の命令表現の特徴であり、また、中国語の命令表現と大きく異なる点でもある。

3.2. 動作過程の描写

3.2.1. 中国語

「着」は、動作の過程を描写することができる。たとえば、

- (13) a 他在听讲演过程中睡着了。(彼はスピーチを聞いているうちに眠ってしまった)
 b 他在听讲演的过程中睡着了。(彼はスピーチを聞いているうちに眠ってしまった)
 c 他在听着讲演的过程中睡着了。(彼はスピーチを聞いているうちに眠ってしまった)
- (14) 老人说着说着就哭了。(年寄りの方は喋っているうちに泣いてしまった)(出典：中国网东海资讯 2016.8.10)

中国語では、動作過程の描写方法として、(13)aと(13)bのように、動作の過程を捉える時には、「着」は用いられていないが、表現することができる。そして、(13)cのように、「V着」の形でその動作の過程を捉えることもできる。「着」は「聞いている」という動作過程を描写することができる。(13)cにおける「着」は、(13)aと(13)bより明確に動作の過程を表わすことができる。(13)aと(13)bの場合は、動作の過程を表わすことができるが、「着」は動作過程におけるその動的状态の持続を明確に表現することができない。それに対し、(13)cの場合は、「着」によって、動作過程におけるその動的状态の持続を明確に表現し、その動的状态の持続を描写することができる。

また、(14)のように、「V着V着就～了」の形で、動作過程における動的状态の持続を明確に表現するという方法もある。「老人说着就哭了(年寄りの方は喋っているうちに泣いてしまった)」のように、「V着就～了」の形で表現する場合は、動作過程における動的状态を描写することはできるが、特に強調するわけではない。そして、「V着V着就～了」の形を取ると、動作過程の最中にあるその動的状态を端的に強調することができる。これは「V着」を繰り返すことによって、その動作の過程を示唆する表現形式であり、また、その動作の最中にある動的状态の持続を描写する文法的手段だと言える。

「在听着讲演的过程中」の場合は、「在～的过程中」という文節によって、動作の過程における動的状态の持続を表わすことになる。一方、「老人说着就哭了」の場合は、「V着就～了」という文型によって、ある動的状态が運動の最中にあることを示している。この二者はそれぞれ文節と文型による動作過程を描写する表現形式と考えられる。これらに対し、「V着V着就～了」の場合は、「就～了」という語句に助けを借りて、「V着V着」という形で用いられているため、動作の過程を強調した表現として、その最中にある動的状态をより明確に描写することができる。

「着」はこのように、他の語句に助けを借りて動的状态の持続を描写し、過程の最中にある多様な動的状态を表現することができる。

3.2.2. 日本語

〈テイル〉は、動作過程における動的状态の持続を表現することができる。この点では、中国語の「着」と共通している。たとえば、

- (15) a? 私はラジオを聞くうちに眠ってしまった。
 b 私はラジオを聞いているうちに眠ってしまった。
- (16) ?? 私はラジオを聞いている、聞いているうちに眠ってしまった。

〈テイル〉は、(15)bのように、「～ウチニ」という文節と共起して、ラジオを聞いているという動作の最中にある動的状态の持続を表わしている。この場合は、「在～着的过程中」という文節によって動的状态の持続を表わす「着」とは同じだと言える。しかし(13)aと(13)bの場合は、「着」と共起しなくても、動作過程における動的状态を把握することができる。それに対し、〈テイル〉が使われない場合は、(15)aのように、「聞くうちに」だけでは、動作の最中にある動的状态を表現することができない。日本語では「聞く」という動詞は、動作の意味を示唆できるが、その動作が持続の最中にあることを表現できないからである。そして、

持続中の動的状態を描写するには、「聞いている」のように〈テイル〉という形を取らなければならない。しかし、それだけでも不十分で、さらに、「～(動詞連体形)ウチニ」という文節に助けを借りることになる。この点では、中国語の「在～着的过程中」という表現と全く同じだと言える。しかし、〈テイル〉という形を取らないと、持続中の動的状態を捉えることができないという点では、(13)aと(13)bと根本的に異なっている。これは、動詞の直後に来る〈テイル〉の有無による文法的意味の異なりであり、各々の語形がそれぞれ異なった文法的機能を持っているものと考えられる。

日本語では、「彼は話しているうちに興奮してきた」「書いているうちに内容が脱線してしまう」「先生の話の聞いているうちに眠くなってきた」などのように、「～シテイルウチニ」という文節で表現する場合は、持続中の動的状態を描写し、ある結果が生まれることを示唆することになる。〈テイル〉という形を取らないと持続中の動的状態を描写できず、動作の最中にあることも表現できないという点では、「着」が用いられなくても動作の最中にあることを表現できる中国語の表現とは異なっている。

一方、日本語では、(16)のように、〈Vテイル〉という形を繰り返すことができない。この点は中国語の「着」と大きく異なった点と言える。中国語では、語尾変化による文法的機能を獲得するわけではなく、文法的形式を繰り返すという形によって文法的機能を獲得するのである。孤立語として文法的形式を繰り返すことによる文法的機能の拡張が一つの表現手段となっているからである。それに対し、日本語では、〈Vテイル+ウチニ〉という表現形式は、それだけで動作の過程を表わすことができるため、単純な繰り返しによる文法的機能の獲得を必要としないのである。日本語の文法形態が発達し、所定の形による表現が用意されており、単純な繰り返しが文法的機能の拡張には繋がらないからである。この点では、日本語は中国語と大きく異なっている。

3.3. 連体修飾節における意味機能

3.3.1. 中国語

連体修飾節に「着」が使われる場合と使われない場合がある。「着」は連体修飾節に使われる時、その状態の持続を表わすことになる。たとえば、

- (17) 穿着西裝的男人。(背広を着ている男性)
 (18) 拎着包的美女。(鞆を手に持った美女)

「着」はこの中で該当の動詞と共に連体修飾節に用いられている。(17)の場合は、着ている状態を鮮明に描写しており、体に付着しているという意味を強調しているが、(18)の場合は、手に持っているという状態を

鮮明に描写し、手の中に握っているという意味を示している。「着」が使われない場合は、「穿西裝的男人(着物を着る男性)」「拎包的美女(鞆を手に持つ美女)」のように、状態の描写はできるものの、鮮明には表現することができない。「穿制服的男人」「穿便衣的男人」「拎手絹的美女」「拎提籃的美女」のように、区分の意味はあるが、体に付着している状態や手に持っている状態を鮮明に描写することができない。それに対し、(17)(18)のような場合は、「着」が用いられているため、体に付着している状態や手に持っている状態を鮮明に描写することができる。

「着」が連体修飾節に用いられる場合と用いられない場合があり、たとえば「挂衣服の架子(服を掛けるハンガー)」と「挂着衣服の架子(服を掛けているハンガー)」の違いについて、劉一之(2001)では次のように指摘している。理論的に言うと、「挂衣服の架子(服を掛けるハンガー)」の場合は、一つの分類として服を掛けるものを指し、また、ズボンを掛けるハンガー、靴下を掛けるハンガーなどがある。そして、「挂着衣服の架子(服を掛けているハンガー)」の場合は、服を掛けるものである可能性があり、またハンガーの臨時的な機能である可能性もある。もとはズボンを掛けるものだが、臨時的に服を掛けるものとする。とにかく、それが強調しているのはハンガーの分類ではなく、ハンガーの果たしている役割を表わすのである(P 123)⁷⁾。この指摘は参考になるものだが、「着」が用いられた場合は、状態の描写が強調されているという点も指摘すべきであろう。

「着」は連体修飾語に立つ場合は、その動的状態も静的状態も描写することができる。それぞれの状態に対し、強い描写性を有している。

3.3.2. 日本語

〈テイル〉は、連体修飾節に用いられる場合は、状態の描写が鮮明にできるという点では中国語の「着」と共通している。たとえば、

- (19) 浴衣を着ている男性がする様々なしぐさに惹かれる女性も多いと思います。(iiyukata.com)
 (20) 肩や腕にバッグをかけている女性は8割～9割もいます。(detail.chiebukuro.yahoo.jp)

日本語では、(18)(19)の他、「浴衣を着る男性」「肩や腕にバッグをかける女性」「浴衣を着た男性」「肩や腕にバッグをかけた女性」という表現も可能である。「浴衣を着る男性」「肩や腕にバッグをかける女性」の場合は、「浴衣を着る」と「肩や腕にバッグをかける」がそれぞれ性質を表す連語として、係り先の「男性」と「女性」に係り、「着る」「掛ける」という静的状態を鮮明に描写しているわけではない。

一方、「浴衣を着た男性」「肩や腕にバッグをかけた女性」の場合は、過去助動詞の〈タ〉が使われているため、「着る」「掛ける」という静的状態を描写していると考えられる⁸⁾。この中で、〈タ〉は、「浴衣を着た～」「肩や腕にバッグをかけた～」という形で、静的状態を描写している。ところが、〈テイル〉が用いられ、(19)(20)のように表現された場合は、〈タ〉の場合より鮮明にその静的状態を描写することができる。「浴衣を着た男性」「肩や腕にバッグをかけた女性」は、「浴衣を着る」「肩や腕にバッグをかける」という動作の完了後の状態を表わすだけであって、その状態の描写はできるものの、非常に鮮明に描写しているわけではない。それに対し、(19)(20)の場合は、〈テイル〉によって、その静的状態を強く描写することができる。この場合は、浴衣が体に付着しているという状態や、バッグを肩や手にぶら下げているという状態を表わし、〈タ〉よりさらにその静的状態を強く描写することができる。

「浴衣を着る男性」「肩や腕にバッグをかける女性」という表現の場合は、「着」が用いられてない「穿(西)装の男人(着物を着る男性)」「拎(包)的美女(鞆を手に持つ美女)」に相当するものと考えられる。「浴衣を着ている男性」「肩や腕にバッグをかけている女性」という表現の場合⁹⁾は、「穿着(西)装的男人(着物を着ている男性)」「拎着(包)的美女(鞆を手に持っている美女)」に相当すると言える。一方、「浴衣を着た男性」「肩や腕にバッグをかけた女性」という表現の場合は、前者に近いが、相当するとは言えない。現代語では、「??穿了(西)装的男人(着物を着た男性)」「??拎了(包)的美女(鞆を手に持った美女)」のように、〈タ〉に相当すると見られる「了」は用いることができない¹⁰⁾。なぜなら、「了」は動作・行為の実現を表わすことになり、状態の描写にはあまり使われないが、「着」は動作・行為の実現を表わすわけではなく、状態の描写に多用されるからである。

4. まとめ

命令表現・動作過程の描写・連体修飾節に用いることができるという点では、両語はほぼ共通しているが、命令表現の場合、語の意味による制限をあまり受けておらず、動作過程への多様な描写の手段を持っているという点では、「着」は〈テイル〉と異なっている。

「着」は、命令表現に用いることができ、様々な動的状态を捉えることができる。また静的状態に対しても支配的に捉えることができる。この用法は「着」のその他の表現における用法とは大きく異なり、命令表現における「着」の独特な用法と考えられる。動作過程への把握の仕方も多くあり、また、連体修飾節においても強い描写性を有しており、多様な状態を表現することができる。この点では〈テイル〉と違っている。

〈テイル〉は、命令表現に用いられる場合、ぞんざい

な命令表現として話し言葉に多用されるが、丁寧な命令表現とはならない。また、動詞の意味によっては共起しにくい場合もあり、使用上、一定の制限を受けている。連体修飾節においても強い描写性を保っており、静的状態の持続を表現することができる。ただし動作過程を捉える場合は、所定の形式によって表現することになり、「着」のように繰り返すことができない。

注

- 1)、本研究では中国語の考察語は「 」、日本語の考察語は〈 〉で示す。例文に挙げられた考察語については下線を引く。以下同じ。
- 2)、ここに挙げた作例の共起の可否については、中国語は筆者の語感によるものであるが、日本語は日本人話者に実施したアンケート調査の結果によるものである。なお、参考のため、関連の作例に関するデータも取ったので、以下示しておく。参照されたい。
- 3)、詳しくは袁毓林(1992)、刘一之(2001)を参照されたい。
- 4)、袁毓林(1992)ではこの点について述べていない。
- 5)、この点については、袁毓林(1992)でも言及されている。詳しくは同P 54を参照されたい。
- 6)、ところが、「一点儿(少し)」という語句が来て、「V+着+点儿(少し～テイル)」の形になると、一文字の動詞はもとより、二文字の動詞も共起できる。たとえば、「注意着点儿(少し注意している)」「学习着点儿(少し勉強している)」などがそれである。この場合は、命令・依頼のモダリティを表わす語句として、その命令表現を安定させることができると考えられる。
- 7)、「挂(掛ける)」「穿(着る/穿く)」などの動詞は、動的状态を表わすことも、静的状態を表わすこともできる。
- 8)、「着る」「穿く」などの動詞は、動的状态も静的状態も表わすことができるという点について、工藤(1982)、仁田(1982)では言及されている。
- 9)、寺村(1982・2003)では、「よごれた縋帯を首に巻いた女が座っていたが、……」のような場合、「巻いた」でも「巻いている」でもあまり変わらないように思われると指摘している(P 198)。筆者は「巻いた」の場合はその状態を点的に捉えているのに対し、「巻いている」の場合はその状態を線的に捉えていると考えている。
- 10)、袁毓林(1992)では「着」と「了」とは文法的性質が異なっているため、置き換え関係上、並行性を保っていないと述べている。詳しくは同P 64を参照されたい。

◎ここに挙げた日本語の例文がセンテンスとして成立するかどうかについて、日本人話者(年齢18歳～20歳、いずれも国立大学の在学学生である)にアンケート調査を実施して判定していただいた。

調査の基準は以下の通りである。日本語として非常に自然だと思うものは○)、やや不自然な感じがするものの、言わないことはないと思うものは(?)、日本語としては非常に不自然でほとんど言わないと思うものは(??)、日本人であれば、絶対誰とも言わないと思うものは(×)と記入するように依頼した。以下それぞれ

その結果を示す。

- (1)、座っている。
〔回答者52人：○48人 ? 4人 ??0人 ×0人〕
- (2)、座っておけ。
〔回答者52人：○47人 ? 2人 ??3人 ×0人〕
- (3)、立っている。
〔回答者52人：○49人 ? 2人 ??1人 ×0人〕
- (4)、立っておけ。
〔回答者52人：○46人 ? 5人 ??1人 ×0人〕
- (5)、しゃがんでいる。
〔回答者52人：○49人 ? 2人 ??1人 ×0人〕
- (6)、しゃがんでおけ。
〔回答者52人：○48人 ? 2人 ??2人 ×0人〕
- (7)、寝ている。
〔回答者52人：○47人 ? 4人 ??1人 ×0人〕
- (8)、寝ておけ。
〔回答者52人：○50人 ? 1人 ??1人 ×0人〕
- (9)、休んでいる。
〔回答者52人：○48人 ? 4人 ??0人 ×0人〕
- (10)、休んでおけ。
〔回答者52人：○51人 ? 1人 ??0人 ×0人〕
- (11)、この服を着ている。
〔回答者52人：○48人 ? 3人 ??1人 ×0人〕
- (12)、この服を着ておけ。
〔回答者52人：○49人 ? 2人 ??1人 ×0人〕
- (13)、帽子をかぶっている。
〔回答者52人：○45人 ? 7人 ??0人 ×0人〕
- (14)、帽子をかぶっておけ。
〔回答者52人：○50人 ? 1人 ??1人 ×0人〕
- (15)、布団をかけている。
〔回答者52人：○25人 ? 19人 ??6人 ×2人〕
- (16)、布団をかけておけ。
〔回答者52人：○49人 ? 2人 ??1人 ×0人〕
- (17)、荷物を担っている。
〔回答者52人：○26人 ? 17人 ??5人 ×4人〕
- (18)、荷物を担っておけ。
〔回答者52人：○22人 ? 12人 ??9人 ×9人〕
- (19)、急ぐことなら、放ってはいられない。
〔回答者52人：○13人 ? 17人 ??11人 ×11人〕
- (20)、急ぐことなら、放っておけない。
〔回答者52人：○32人 ? 10人 ??8人 ×2人〕
- (21)、聞いていないようにしないでくれ。
〔回答者52人：○13人 ? 13人 ??19人 ×7人〕
- (22)、見ていないようにしないで。
〔回答者52人：○17人 ? 8人 ??10人 ×17人〕
- (23)、覚えていないようにしないで。
〔回答者52人：○11人 ? 11人 ??12人 ×18人〕
- (24)、「事実だから、このまま放っておいてもいいんだが、相手はかなりの大物だからね、～」
〔回答者52人：○46人 ? 5人 ??1人 ×0人〕

- (25)、「事実だから、このまま放っていてもいいんだが、相手はかなりの大物だからね、～」
〔回答者52人：○28人 ? 16人 ??4人 ×4人〕
- (26)、窓を開けたままにしよう。
〔回答者52人：○35人 ? 7人 ??1人 ×9人〕
- (27)、窓を開けたままにしている。
〔回答者52人：○48人 ? 3人 ??1人 ×0人〕
- (28)、窓を開けたままにしていよう。
〔回答者52人：○36人 ? 12人 ??1人 ×3人〕
- (29)、窓を開けたままにしている。
〔回答者52人：○42人 ? 7人 ??2人 ×1人〕
- (30)、窓を開けたままにしておけ。
〔回答者52人：○48人 ? 3人 ??1人 ×0人〕
- (31)、スピーチを聞くうちに、眠ってしまった。
〔回答者52人：○37人 ? 15人 ??0人 ×0人〕
- (32)、スピーチを聞いているうちに、眠ってしまった。
〔回答者52人：○51人 ? 1人 ??0人 ×0人〕
- (33)、スピーチを聞いたうちに、眠ってしまった。
〔回答者52人：○0人 ? 3人 ??14人 ×35人〕
- (34)、スピーチを聞いていたうちに、眠ってしまった。
〔回答者52人：○15人 ? 20人 ??7人 ×10人〕
- (35)、走っているうちに突然倒れてしまった。
〔回答者52人：○31人 ? 15人 ??5人 ×1人〕
- (36)、走るうちに突然倒れてしまった。
〔回答者52人：○6人 ? 15人 ??14人 ×17人〕
- (37)、走ったうちに突然倒れてしまった。
〔回答者52人：○0人 ? 7人 ??9人 ×36人〕
- (38)、走っていたうちに突然倒れてしまった。
〔回答者52人：○13人 ? 15人 ??8人 ×16人〕
- (39)、喋っているうちに、泣いてしまった。
〔回答者52人：○48人 ? 4人 ??0人 ×0人〕
- (40)、喋るうちに、泣いてしまった。
〔回答者52人：○18人 ? 19人 ??5人 ×10人〕
- (41)、喋ったうちに泣いてしまった。
〔回答者52人：○1人 ? 8人 ??9人 ×34人〕
- (42)、そのまま小路を歩いているうちに巽橋に出る。
〔回答者52人：○24人 ? 14人 ??5人 ×9人〕
- (43)、そのまま小路を歩くうちに巽橋に出る。
〔回答者52人：○21人 ? 16人 ??4人 ×11人〕
- (44)、まずこれを持っている。
〔回答者52人：○30人 ? 16人 ??0人 ×6人〕
- (45)、まずこれを持っておけ。
〔回答者52人：○44人 ? 8人 ??0人 ×0人〕
- (46)、聞いている。
〔回答者52人：○43人 ? 5人 ??0人 ×4人〕
- (47)、覚えていろ。
〔回答者52人：○47人 ? 4人 ??0人 ×1人〕
- (48)、捨てている。

- 〔回答者52人：○1人 ? 9人 ??5人 ×37人〕
 (49)、捨てておけ。
 〔回答者52人：○50人 ? 2人 ??0人 ×0人〕
 (50)、投げている。
 〔回答者52人：○13人 ? 13人 ??4人 ×22人〕
 (51)、投げておけ。
 〔回答者52人：○42人 ? 5人 ??3人 ×2人〕
 (52)、片づけている。
 〔回答者52人：○31人 ? 9人 ??2人 ×10人〕
 (53)、片づけておけ。
 〔回答者52人：○41人 ? 2人 ??1人 ×8人〕
 (54)、立っていないで、どこかに座って。
 〔回答者52人：○48人 ? 3人 ??0人 ×1人〕
 (55)、寝ていないで、起き上がって。
 〔回答者52人：○36人 ? 14人 ??1人 ×1人〕
 (56)、置いている。
 〔回答者52人：○5人 ? 12人 ??9人 ×26人〕
 (57)、放っている。
 〔回答者52人：○11人 ? 11人 ??8人 ×22人〕
 (58)、残している。
 〔回答者52人：○3人 ? 14人 ??7人 ×28人〕
 (59)、仕舞っている。
 〔回答者52人：○10人 ? 11人 ??10人 ×21人〕
 (60)、置いておけ。
 〔回答者52人：○52人 ? 0人 ??0人 ×0人〕
 (61)、放っておけ。
 〔回答者52人：○51人 ? 1人 ??0人 ×0人〕
 (62)、残しておけ。
 〔回答者52人：○50人 ? 2人 ??0人 ×0人〕
 (63)、仕舞っておけ。
 〔回答者52人：○48人 ? 3人 ??1人 ×0人〕

- 奥田靖雄(1977)「アスペクトの研究をめぐって—金田一的段階—」『宮城教育大学国語国文』8
 金田一春彦(1950)「国語動詞の一分類」金田一春彦編(1976)『日本語動詞のアスペクト』むぎ書房
 工藤真由美(1982)「シテイル形式の意味記述」武蔵大学『人文学会雑誌』13巻4号
 寺村秀夫(1982・2003)『日本語のシンタクスと意味』II くらしお出版
 中島孝幸(1999)「結果を表す構文について：テイルとラレテイル」『三重大学日本語学』10号
 仁田義雄(1982)「動詞の意味と構文——テンス・アスペクトをめぐって——」『日本語学』1巻2号
 吉川武時(1976)「現代日本語動詞のアスペクトの研究」
 金田一春彦編(1976)『日本語動詞のアスペクト』むぎ書房
 吉川妙子(2012)『日本語動詞テイルのアスペクト』晃洋書房

(2016年9月23日受理)

参考文献

中国語

- 北京大学中文系1955・1957级语言班编(1982)《现代汉语虚词例释》商务印书馆
 戴耀晶(1997)《现代汉语时体系统研究》浙江教育出版社
 房玉清(1992)《实用汉语语法》北京语言学院出版社
 金立鑫(2004)「“着”“了”“过”时体意义的对立及其句法条件」《第七届国际汉语教学讨论会论文集》北京大学出版社
 刘一之(2001)《北京话中的“着”(zhe)字新探》北京大学出版社
 吕叔湘主编(1984)《现代汉语八百词》商务印书馆
 王学群(2007)『中国語の“V着”に関する研究』白帝社
 吴卸耀(2006)《现代汉语存现句》学林出版社
 袁毓林(1993)《现代汉语祈使句研究》北京大学出版社
 张黎(2012)《汉语意合语法研究——基于认知类型和语言逻辑的建构》白帝社

日本語

- 飯嶋美知子(2004)「結果継続表現の日中対照研究—「他動詞の受身+テイル」と中国語の存在文、受身文—」『早稲田大学日本語教育研究』4号